

ようこそ、美的好奇心の世界へ。当館学芸員がご案内します。

2026年度 美術鑑賞講座



定員165名（申込不要・先着順） 当館講堂にて 参加無料 各回14:00～15:30（13:30開場）

月日	テーマ	おはなし
5/9 (土)	アーティスト・カップル 久保田成子とナムジュン・パイク 新潟出身の久保田成子（1937～2015）と、パートナーである韓国出身のナムジュン・パイク（1932～2006）。ビデオ・アーティストとして知られる二人の出会いやそれぞれの創作活動を紹介するとともに、作品への相互影響や協働制作を通して、二人の関係性について考えます。 関連する展覧会：コレクション展「没後10年 久保田成子」 4月1日～5月31日	濱田 真由美 (当館学芸員)
7/25 (土)	没後90年 土田麦僊の花鳥画 佐渡出身の日本画家・土田麦僊（1887～1936）による二つのケン図、《芥子》（1926年、第5回国展、当館蔵）と《罌粟》（1929年、第10回帝展、皇居三の丸尚蔵館収蔵）を中心に、彼が晩年に傾倒した花鳥画制作の意義について考えます。 関連する展覧会：コレクション展「没後90年 土田麦僊と京都画壇の作家たち」 6月9日～8月30日	長嶋 圭哉 (当館学芸員)
10/3 (土)	きもののヒミツ×かわいいデザイン 「きもののヒミツ」展（9月12日～11月15日）をより楽しくご覧いただくため、出品作品の中のかわいいデザインに注目し、そこに込められた意味や、時代の流行について解説します。 関連する展覧会：企画展「きもののヒミツ 友禅のうまれるところ」 9月12日～11月15日	池田 珠緒 (万代島美術館学芸員)
11/7 (土)	日本美術でたどるファッションの歴史 日本の美術作品に登場する人物の装いをとおして当時のファッションの様相を紹介し、その変遷をたどります。肖像画や遊楽図、浮世絵の美人画などの作品を鑑賞しながら、時代ごとの流行をのぞいてみましょう。 関連する展覧会：企画展「きもののヒミツ 友禅のうまれるところ」 9月12日～11月15日	飯島 沙耶子 (当館学芸員)
2/13 (土)	あらためて江口草玄の書を見直してみよう コレクション展「江口草玄の書—ことばの姿—」に合わせ、草玄の遺品資料の整理から見てきたことなどを加えて、草玄の書とその思想について今一度、見直してみたいと思います。 関連する展覧会：コレクション展「江口草玄の書 —ことばの姿—」 12月1日～2月21日	松矢 国憲 (当館学芸員)

■学芸員によるその他の講座

7/18 (土)	みる・はなす・つながる 対話型鑑賞を楽しむセミナー 知識がなくても大丈夫！ 自分の素直な“まなざし”と“感性”を持ち寄って話し合うと、作品の意外な魅力を発見し、新しい世界がひらけます。画像を見ながらのレクチャーの後、展示室の作品で体験してみましょう。 要事前申込 [申込は4/1(水)9:00より受け付けます] コレクション展観覧券が必要 定員15名 14:00～16:00 当館ギャラリー・コレクション展示室にて	宮下 東子 (当館学芸員)
-------------	---	------------------

※各講座の日時は都合により変更する場合があります。最新の情報は公式HPをご確認ください。